

おお大勝利

平成 21 年度山東サッカー部報第 25 号 (12 月 17 日)

サッカー部保護者の皆様、OB の皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

納会 にぎやかな締め

12 月 16 日(水) なかじま商店にて、山東サッカー部恒例の納会が行われました。なかじま商店での納会はかれこれ 20 年以上続いている恒例行事で、OB の方が振舞ってくれるすき焼きをほおばりながら、今年 1 年の活動を振り返りました。OB 会からは清野会長をはじめとして 5 名の OB が出席され、顧問 2 名、生徒 41 名の総勢 48 名。選手数が少ない分、例年より人数の面ではさびしいものがあり、2 階の大広間は余裕があるように思われましたが、会が始まってしまえばにぎやかそのもの。

まず清野会長のお話から会がスタート。会長は 3 年生のこれまでの労を労うとともに、新チームの来春の活躍に期待を述べられました。次は顧問挨拶。今野が代表して挨拶に立ち、ここ 4 年で初の一人も部員が辞めることのなかった 3 年生のチームワークの良さについて話をしました。その後、優秀選手 5 名の発表と、山形東の帽章入りオリジナルトロフィーの贈呈。今年は下の 5 名が表彰を受けました。マネージャーも毎年の特別賞を受賞。OB 会の皆様からマネージャーへの感謝の品が手渡されました。そして、奥山副会長の音頭で乾杯。

1 年生は争うように肉を食べますが、なかじま商店でのすき焼き 3 回目の 3 年生は計画的な鍋さばき。OB・顧問席は奥山副会長が御奉行様となり、冷静にまずシラタキや野菜から鍋に投入。「いろんな作り方がある」とおっしゃりながら、日本酒をどぼどぼと鍋に入れる。さすが、毎年納会に出席されているだけある！しかし、OB・顧問席はどちらかというといき気より飲み気。特に、すき焼きなのに肉が進まない！！当初は諸先輩方に気を使って遠慮気味だった遠藤先生が「片付け係」となると、途端に鍋のものがなくなっていく。

会の終盤では他の OB の方々から激励を頂き、それに答える形で 2 年主将三澤、3 年主将鬼嶋が感謝の言葉、今後の抱負を述べました。それらの言葉を再現したいのですが、大変申し訳ないのですが会が楽しすぎて水分を過剰に摂取したため、覚えてません！その後、生徒による会の「締め」があり、3 年大場のギャグ 3 連発締め、1 年大三のシャカ締めではしっかり締まらなかったため、有人の一発締めで会は無事終了。1、2 年生を帰らせ、3 年生は記念撮影。そしてなかじま商店をあとにしました。

OB・顧問の 2 次会は、なかじま商店の斜め向かいにある二次会恒例の壽屋が閉ま

っていたため、急遽、山東サッカー部 OB 会の定宿ならぬ定店である花小路の「はなまる」へ。カウンターに座りきれなくなりながら、最後までサッカー談義に花を咲かせました。

今年うれしいことも悲しいこともありましたが、とりあえず現在は 1 月末の東北新人での勝利という目標があります。新年を迎えるに当たり、良い励みになります。山東サッカー部は多くの方々の応援を力に変えるべく来年もがんばりますので、来年もよろしく願いいたします。2009 年、お疲れ様でした。

五十嵐究	遊び心あふれたプレーで、多くの観客を沸かせることができた。それは、トラップ・キックという基礎技術が他より秀でていたからできたのだが、敵の裏をかくプレーをいつも狙っているからこそ、可能になったといえるだろう。だまされるがだませない真面目なプレーヤーが多い山東のなかで、人をだますことに長けた異色のプレーヤーで、だからこそ他に与える影響が大きかった。
渋間康生	ボールを止める蹴るというサッカーの技術の面でいうとかなり劣ったプレーヤーであったが、その短所を補うだけのフィジカルと対人の際の読みそしてガッツで、チームの勝利に大きく貢献し続けた。人一倍声を出す点でもチームを牽引したといえる。彼のように練習の雰囲気や常によくしてくれるプレーヤーはチームに不可欠であり、後輩はその点をぜひ見習ってほしい。
近藤紀行	3 年間で彼がしなかったポジションはないくらい、ユーティリティーな能力を発揮した選手。プレーではもくもくと仕事をこなす職人タイプ。人一倍思いやりにあふれており、チームの不和を和らげることができ、副キャプテンという No.2 にはうってつけであった。頭(皮)がキレやすいのもご愛嬌であった。県新人の米沢中央戦での、フェイントを入れてからの振り向きざまシュートのすばらしさは、まぶたに焼き付いている。
佐藤琢哉	1 年次の夏になかば強制的に GK にコンバートされて以降、努力を重ね、フィジカルはないが技術ある GK へと成長した。FP のときには硬いボールタッチが目立ったが、キャッチングは非常に柔らかで、GK が天職であったのではないかと思われる。生活面ではだらしなさが目立ったが、GK の練習ではスティックに打ち込むことができた。
鬼嶋公也	フィジカル、技術、リーダーシップいずれも秀でた、すばらしい素質を持った選手であった。1 年次よりレギュラーポジションを獲得し、3 年間公式戦に出続けた。キャプテンとして部員の力を向上させようと、計画的に練習を指揮した功績も大きい。県内の多くのサッカー部顧問からも、大学でサッカーを続けることを囑望されている選手である。